



北海道労働局

千歳公共職業安定所
(ハローワーク千歳)
職業指導官

採用区分：大卒行政

直接的に利用者の生活を支えられることに
魅力を感じています

今の仕事について

現在、ハローワーク千歳の事業所部門に所属しています。ハローワークの役割は仕事を探す方の支援だけでなく、仕事を探す方と労働者を募集する方の双方を支援して両者のマッチングを図ることにあります。事業所部門では事業主から求人を受け付け、求める人材が確保できるよう支援します。

私の担当業務は労働市場の統計・分析、公表



資料の作成、求人者支援の企画、広報活動、助成金の支給事務となります。地域の労働市場に関する情報を収集、分析した上で、必要な求人者支援を考え、より良いマッチング成立を目指しています。

仕事のやりがい

労働行政、中でも職業安定行政は、創造性のある仕事ができることが大きな魅力かと思います。公務員といえばマニュアル主義のイメージがありますが、ハローワークでは、時代の変化を捉えながら新しい発想を取り入れ、より良いサービスを創る仕事ができます。統計数値の分析、支援策の立案、イベントの企画、SNSを活用した広報活動等、発想力や企画力を発揮できるのが難しさでもあり、大きなやりがいにもなっています。

また、国の機関でありながら地域密着の色が強く、利用者との距離も近いため、成果を実感しやすく、充実感や達成感が得られることもやりがいの一つかと思います。

志望動機を振り返って

当初は明確な動機やビジョンもなく、公務員を志望した理由は打算的なものでしたが、労働行政を選んだのは、労働に関する問題が最も身近なものとして感じられ、そこで働くことに興味を持ったからです。労働は誰にとっても生活の基盤となるものですので、その支えとなるべく尽力できればと考えるようになりました。漠然とした動機でしたが、今は新しいアイデアも取り入れながら直接的に利用者の生活を支えられることに魅力を感じています。

ある日の私

8:30 出勤
労働市場の統計・分析
会社説明会対応

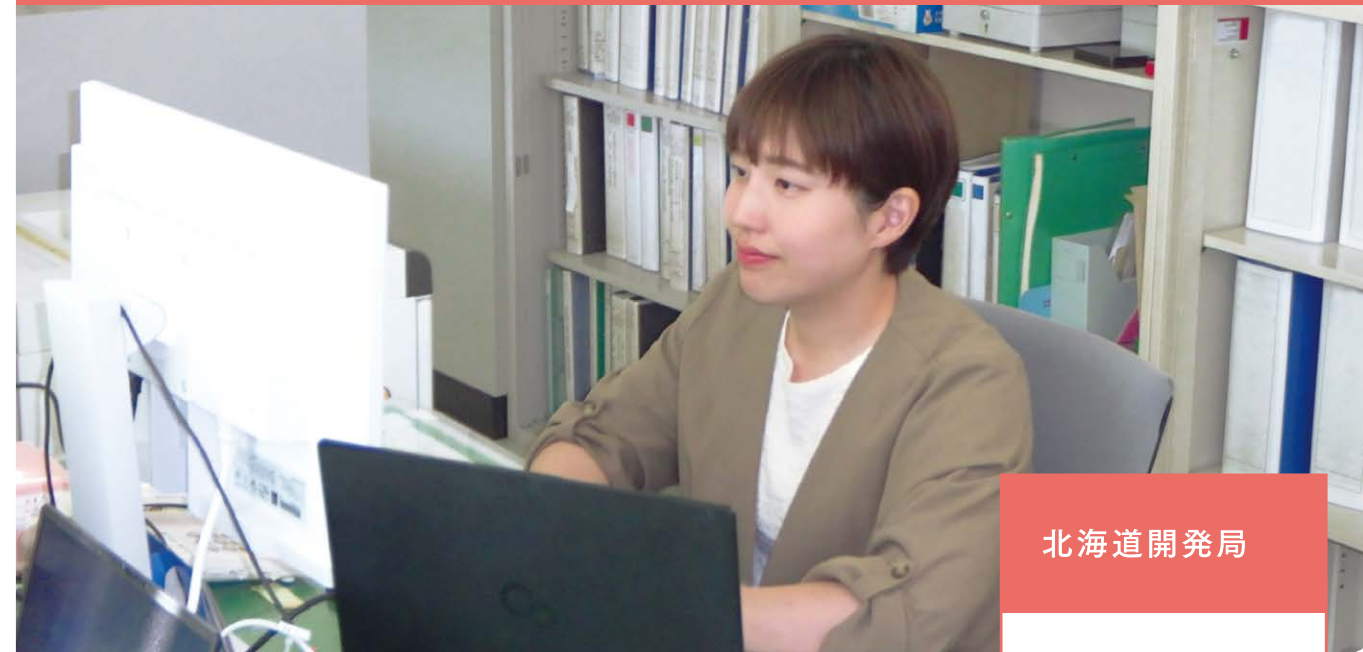
12:00 昼休み

13:00 助成金の審査

15:00 所内
打ち合わせ

16:00 ホームページ
SNSでの
広報活動

17:30 退勤



北海道開発局

札幌開発建設部
公物管理企画課 専門官

採用区分：大卒土木

災害対応の最前線に携わることができたのは
貴重な経験です

今の仕事について

現在、所属している公物管理企画課へ異動して1年目になります。私は、河川敷地に隣接する公有地や民地との敷地境界を確定させるための測量業務の積算・発注・監督を担当しています。敷地境界が不明確なままだと、河川管理者の許可を受けずに河川敷地を排他的・継続的に使用している不法占用の判断ができない等、河川管理に支障をきたすこ



ともあることから、河川敷地境界を明確にすることは重要となります。そのほかに、河川行政の基本となる河川現況台帳の作成・更新作業も行っています。

記憶に残っている仕事について

入局3年目に経験した平成28年8月北海道豪雨による災害対応が記憶に残っています。私が勤務していた十勝管内では、河川の堤防が決壊したことなどにより、家屋流出や農地浸水が発生し、甚大な被害となりました。当時は地域の安全確保のための河川パトロールや応急復旧工事及び災害復旧工事の積算・監督業務を担当していました。初めての災害対応で戸惑うこともたくさんありましたが、地元の建設業の方々の協力も

得て、災害対応の最前線の現場に携わることができたのは貴重な経験となりました。

家庭との両立について

約1年半の産休・育休を経て、職場復帰すると同時に、子どもは保育園に入園しました。保育園に入園するまではあまり風邪を引かない丈夫な子どもでしたが、保育園に入園してからは体調を崩すことが多くなりました。保育園から子どもの体調不良によるお迎えの連絡がくることもしばしばで、急遽職場を不在にしてしまうこともあります。担当している業務についてはスケジュールに余裕を持って取り組むよう心がけ、職場の理解とサポートのおかげで職場復帰後の新たな生活が成り立っていると感じています。

ある日の私

8:30 出勤
メールチェック

10:00 担当業務の
受注者と打合せ

12:00 昼休み

13:00 担当業務の
現地立会に
向かう

15:00 職場に戻り
担当業務の
進捗状況とりまとめ

16:15 退勤
※育児時間を
1時間取得

17:00 保育園に
子どものお迎え

17:30 帰宅